

西南学院大学博物館秋季特別展

# キリシタン考古学の世界 —今日に甦る祈りとさげび—

会期／2012(平成24)年10月19日(金)～12月15日(土)

時間／午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで)※日曜休館

会場／西南学院大学博物館特別展室 入場料／無料

主催／西南学院大学博物館 共催／一般社団法人日本考古学協会



## 開催概要

九州県内にはフランスコ・ザビエルを起源とするキリスト教文化が根付いている。これらの地域には、特に熱心なキリスト教信者がおり、彼らによる確実な信仰の姿があった。これまでになかった思想の訪れは彼らの精神性にも変化をもたらしていた。

しかし、キリスト教の伝播は長くは続かず、布教に続いて信仰が禁じられたことは、大きな転換期となった。こうしたなかでも彼らはひそかに教えを守り継ぎ、最終的には島原・天草一揆という形になって表出した。原城を舞台に繰り広げられた攻防は、今日の発掘成果からも生々しい様相が浮き彫りとなっている。

島原・天草一揆によって、キリスト教の信仰は絶対的に禁止された。しかし、キリシタンのなかには姿を変えながらも信仰を守ろうとしたものもいた。こうした背景には中世以来から続く海外交流の蓄積があった。

本展覧会では、キリスト教受容の背景から、信仰のあり方を紹介するとともに、島原・天草一揆における戦闘の実像について取り上げる。また、信仰の背景にあった中世における海外交流史を博多・大分・島原・天草の事例をもとにひもとき、キリスト教文化の定着との関連性を見出していきたい。



## ◇展示構成

### I章 信仰の足跡

#### 1. 祈りの証

キリスト教を受容していったキリシタンたちには、心の拠り所としていたものがあつた。そのひとつがメダイ(メダリオン)であり、キリスト教に関係する図像が鋳込まれたメダイはその証となつた。

#### 2. 意匠に込めたもの—キリシタン瓦

キリシタンたちは信仰の証を様々な形に込めていく。そのひとつには瓦があり、十字架をモチーフにしたものが、九州各地で発掘されている。なかには、居城で発掘されているものもあり、文献からは伝わらない当時のキリシタン意匠を知ることができる。

#### 3. 最期に残つたもの

キリシタンが自由だった時代、埋葬される墓にもキリスト教式がとられている。花十字紋やローマ字などが用いられ、当時からすれば、一線を画す様式だったことはいままでもない。現世での礼拝用の碑、そしてキリシタンとしての最期を墓碑として残している。

### II章 島原・天草一揆の痕跡

#### 1. 伝えられる戦況

多数のキリシタンたちが原城に立て籠もって幕府軍に抵抗した一揆軍の姿は、後世にも語り継がれた。書物や絵画など、戦況を伝える資料は数多く残されている。また、実際に使われた武器などからは、信仰のあり方を模索していた実像が浮かびあがる。

#### 2. 戦場の跡から

島原・天草一揆の舞台となつた原城跡からは、当時の戦況を物語る多くの発掘成果が挙げられている。籠城していた彼らほどのように戦っていたのか。そこには信仰をもとに結びつき、幕府軍に抵抗していた姿があつた。

### III章 途絶えなかつた祈り

島原・天草一揆によって、幕府は禁教令を一層強化していく。幕府のこうした政策のなかでも失われなかつたものが彼らにはあつた。いわゆる“潜伏”形態をとることによる信仰のあり方は、彼らにとって苦しい時代を過ごすことになつたものの、後世まで伝える手段として受け継がれていた。

### IV章 海外交易の姿

中世の九州においては各地で海外との盛んな交易がおこなわれていた。これをあらわすように、中国をはじめ、朝鮮半島やタイ、ベトナム産の陶磁器類が出土している。博多や大分、島原、天草の地域でみられる海外交易の姿を紹介していく。

## 行事予定

2012(平成24)年～2013(平成25)年

### 【企画展／特別展】

10月19日(金)～12月15日(土)  
キリシタン考古学の世界—今日に甦る祈りとさげび—  
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

12月20日(木)～2013年5月15日(水)  
古写真でみる西南学院II  
[場所] 西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂

2013年6月8日(土)～8月3日(土)  
九州のキリスト教シリーズIV  
港市平戸松浦家の名宝と禁教政策  
—投影された大航海時代とその果てに—  
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

### 【講演会など】

12月7日(金)9:00～10:30  
講義「児童文学」朗読発表会  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

2013年2月15日(金)13:30～15:00  
青野太潮教授最終講義  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

2013年3月22日(金)13:30～15:00  
2012年度神学部卒業礼拝  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

### 【せいなんこどもワークショップ】

12月1日(土)10:00～12:00  
粘土を使った古代のモノづくり  
[場所] 西南学院大学1号館博物館実習室

### 【団体見学】

12月 3日(月) 西南学院高等学校教員  
宇久高等学校

12月 4日(火) 田川高等学校

12月 8日(土) 福岡市商工会議所 あるるく福岡  
福岡エリア街歩き「古(いにしへ)のロマンを巡るお散歩コース」

12月11日(火) 信愛女学院高等学校

12月14日(金) 聖和高等学校

12月18日(火) 東筑紫学園高等学校  
上天草高等学校

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。  
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 西南学院大学博物館

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号  
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室  
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内  
開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)  
休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]  
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]  
入館料 / 無料

## 来館者掲示板

踏絵をはじめ見て感激しました。ありがとうございました。  
(2012/9/13 女性 30代)

非常に素晴らしい歴史的建造物でした。  
(2012/9/20 男性 50代)

いい図録が出ていました。どんどんPRすべきです。  
(2012/10/22 男性 40代)

市内の大学の学部生です。古いだけでなく重厚で落ち着いた建築と、明確な展示コンセプト。学内の講演会のついでに来館しましたが、魔鏡など珍しいアイテムに出会えました。  
(2012/10/27 男性 20代)

いつもご来館、ならびにご感想ありがとうございます。近頃は当館を囲む薦もすっかり色づき、この季節ならではのすがたを見せています。さて、当館では現在、秋季特別展「キリシタン考古学の世界—今日に甦る祈りとさげび—」が開催されております。本展覧会は日本考古学協会との共催を果たし、数々の発掘資料から、弾圧のなかでも失われることになつた信仰の足跡を浮き彫りにするものとなっています。会期は12月15日(土)までです。文献のみでは知ることのできない九州のキリスト教信仰のすがたを、ぜひご覧ください。

博物館スタッフ Y・A



## アクセスマップ ACCESS MAP



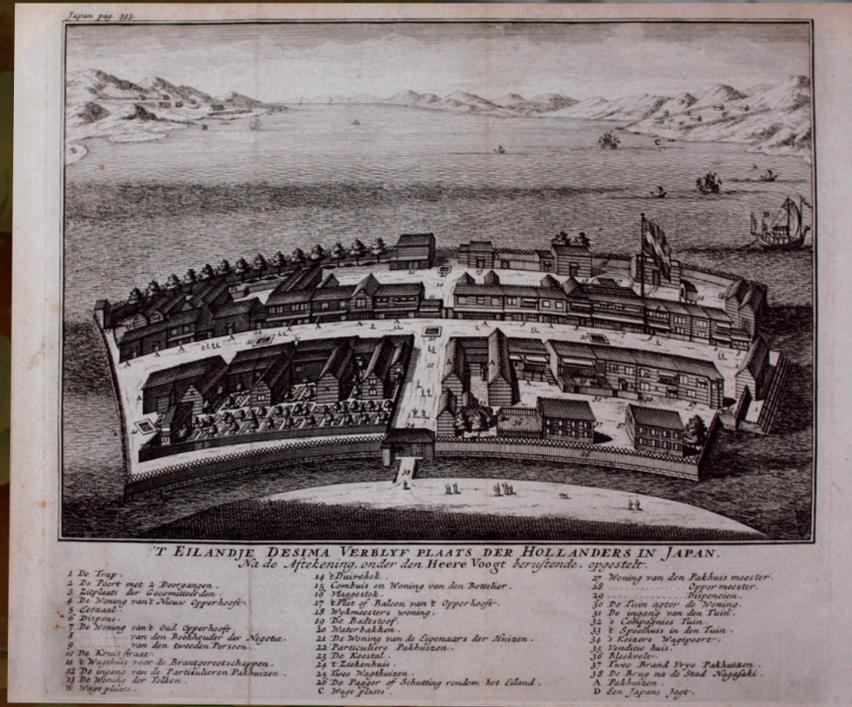
- 地下鉄
  - 福岡空港 → 西新駅下車 → 約17分
  - 博多駅 → 西新駅下車 → 約12分
  - 天神 → 西新駅下車 → 約8分
  - ※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
- バス
  - 博多駅バスター → 修験館前 → 約35分
  - 天神 → 修験館前 → 約20分
  - ※修験館前バスターから徒歩5分
- タクシー
  - 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約25分
  - 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約20分
  - 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約15分

# News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 13 2012.12

◎西南学院大学



出島図 [西南学院大学博物館所蔵]

## 特集 出島図 西洋との唯一の窓口

ヴォーリズ建築を求めて⑩ 明治学院チャペル(礼拝堂)

特別展紹介 キリシタン考古学の世界—今日に甦る祈りとさげび—

所蔵品紹介 出島図 西洋との唯一の窓口

大学博物館紹介⑩ 大阪商業大学商業史博物館

SEINAN GAKUIN  
1920

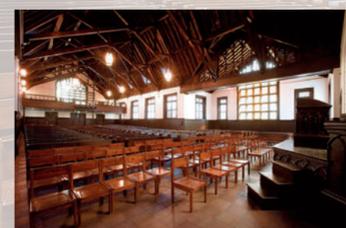
ヴォーリス建築を求めて①

## 明治学院チャペル（礼拝堂）

ウィリアム・メル・ヴォーリスの手がけた建築は日本各地に現存しています。シリーズ第2回目となる今回ご紹介するヴォーリス建築は、東京都港区にあり、明治学院チャペル（礼拝堂）です。

このチャペルはヴォーリス建築のなかでも初期の作品で、大正5(1916)年に建てられました。学院の発展に伴う増改築をへて、2009年には17、18世紀のヨーロッパの工法を再現したパイプオルガンが設置されています。また、ヴォーリスが柳満喜子夫人との結婚式を挙げたことでもよく知られています。明治学院のキリスト教主義教育の象徴として様々な増改築をへてもなおその場所にたち、生き続けている建物です。

博物館臨時職員 貞清世里



補修工事により最大収容人数は600人。

東京都港区有形文化財(1989年)、東京都港区景観上重要な歴史的建造物等(2002年)の指定を受けています。



【大学博物館紹介②】

## 大阪商業大学商業史博物館

大阪商業大学商業史博物館は、谷岡記念館として建物自体が国の登録有形文化財に指定されています。また、元は大学博物館としてではなく学舎として利用されていたこともあり、本学博物館との親しみが感じられるのではないのでしょうか。

商業史博物館では「近世大阪の商業」を展示テーマに、大阪商業史を語る上では欠かせない古文書や、郷土史にちなむ河内木綿コレクションなどが公開されています。また、博物館のホームページにはバーチャルミュージアムが開設されており、大阪の商業史を映像資料で見ることが出来ます。展示物の中には「金式千両入担保小判」と上蓋に書かれた本物の千両箱も実物資料として展示されており、この千両箱には実際の二千両と同じ重さのおもりが入れられています。その



重さはなんと22.5kg。これは小学1年生の平均体重以上の重さになります。是非一度、大阪商業史の重みを体験してみたいかがでしょうか。

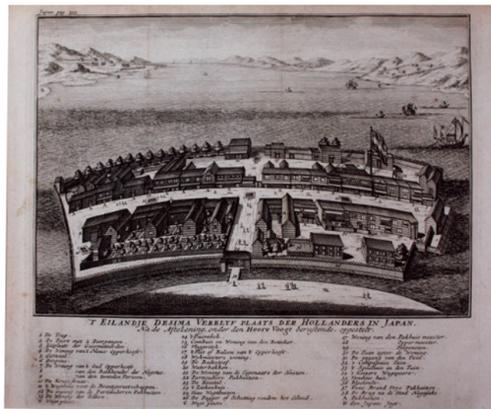
博物館GP研究員 山尾彩香

開館時間 / 10:00~16:30  
休館日 / 日曜日、祝日、創立記念日(2月15日)、年末年始、大学の休館中  
お問い合わせ / 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL 06-6785-6139  
U R L / <http://moch.daishodai.ac.jp/>

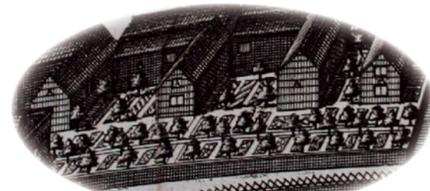


所蔵品紹介

## 出島図 西洋との唯一の窓口



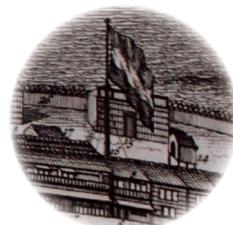
出島の起源は、1636(寛永13)年に長崎市中を流れる中島川下流に豪商25名が出資して扇形に整え、そこに家宅を建ててポルトガル人を収容したことに始まります。1639年にポルトガル人が追放になると、1641年に平戸からオランダ商館を移転したことから、オランダ人がここで生活するようになりました。3,969坪余りの島には橋のたもとに制札が掲げられ、門



出島内の植物園



正門



オランダ国旗

鑑をもった商人たち以外の立ち入りを禁じていました。また、島内には多くの植物や動物も飼われていました。本資料はテリオンが刊行した地図のひとつで、1735年頃の出島を描いたものです。沖に大小様々な船が浮かぶ長崎港をとらえ、出島にはオランダ国旗が掲揚されています。なお、下部には建物などの名称が記号入で説明されています。

## 学芸員の眼 — 学内GP調査関西圏スタート —

2011年度から調査をおこなっている「大学博物館における高度専門学芸員養成事業」も本年度は関西圏からスタートしました。インターネット社会が浸透している昨今ですが、各大学博物館を实地踏査し、あわせて所属する教員・学芸員からヒアリングをおこなうことは大変勉強になります。ネットや書籍などである程度の情報はわかっていても、実際に訪れたことで得られる知識はとも印象に残るものです。また、調査させていただいた大学博物館関係者からのご

教示やご協力はいうまでもありませんが、希薄になりつつある人間関係・信頼関係の構築が本調査の骨子にもなります。本年度は韓国の大学博物館の調査を控えております。本学に在籍する大学院生を本調査に同行させていますが、自分自身が大学院生時代だった頃を思い出します。大学から研究資金を得て調査に参加できる喜び、そして学ぶ機会を提供されることへの感謝の気持ちを参加学生一人ひとりに感じてもらえればと思います。

博物館学芸員 安高啓明



関西大学博物館



大阪商業大学商業史博物館



大阪青山歴史文学博物館

## 西南学院大学博物館の 学芸員のすごいところ!!!

実習生が選ぶ

**プロ意識!!!**  
資料を守ることが第一!

資料と一緒に何時間も運搬車に乗ることもある! 資料の扱いがスピーディーかつ丁寧! 火事になったら資料を守るために飛び込む覚悟がある...らしい?!

実習生のつぶやき  
時には九州から東北まで資料と共に美術車に乗っていくこともあるという...。それも全て資料を安全に運ぶため。責任感が表れている。



美術専用車



学芸員一人で作業を行うと思っていたけれど、様々なプロの方々の協力関係が大切だということがわかった。

**チームワーク!!!**  
展示はプロの仕事の集大成!

運送業者の方々をはじめ多くのプロの方々と学芸員が連携して展示をつくりあげる! 信頼関係がよい展示をつくるためには重要!

**センス!!!**  
正解はない。学芸員次第の展示方法!

資料の見せ方、配置は学芸員の個性が光る! 伝えたいことを伝えるように展示を工夫する!

例えば、光のあて方でも上下の違いで資料の印象が変わってくる。見る人にわかりやすい配置を行うのが、学芸員の腕の見せ所だと感じた。



実習生 江崎麗 / 権藤理恵 / 鳥越久美子 / 原口侑子 / 松井穂絵

※本頁は2012年度博物館実習生に、実習課題として作成されたものです。